

子どもたち・保護者の皆様と丁寧なコミュニケーションを図りながら、一人ひとりの状況をしっかりとアセスメントし、最適な支援策を検討します

「チーム学校」による支援

子どもたちの心の不安や小さなSOS等を「チーム学校」で早期に把握し、必要な支援につなげます。

スクールカウンセラー 心理の専門家であるスクールカウンセラー(SC)に、子どもたちが抱える困りごとや悩みを相談できます。担任の先生や保健室の先生を通して、相談の予約ができます。

スクールソーシャルワーカー 福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー(SSW)が、子どもたちが抱える社会的・家庭的状況に対し、関係機関との調整・連携などにより、解決に向けた動きかけを行います。

特別支援教育コーディネーター 学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整の役割を担う特別支援教育コーディネーターに、特別な支援が必要な子どもの行動面、生活面、学習面での気になることを相談できます。

1人1台端末の活用

- 心の健康観察などにより児童生徒のわずかな変化を見逃さず早期に対応します。
- ICTを活用した学校とのつながりを切らないための取組を進めます。
- 遠隔授業等により学びを継続できる支援を行います。

県の相談窓口

いじめや不登校、子育てや教育上のさまざまな悩みを気軽に相談できます。あなたに合った窓口にご相談ください。

1 岡山県総合教育センター



相談内容等	相談方法	電話番号
<ul style="list-style-type: none"> ●不登校・いじめなど学校生活に関すること ●家庭教育に関すること 	電話・面接	0866-56-9115
<ul style="list-style-type: none"> ●発達障害など発達に関すること ●障害のあるお子さんの学習面などの学校生活に関すること ●障害のあるお子さんの家庭生活に関すること 	電話・面接	0866-56-9117

2 岡山県青少年総合相談センター



相談窓口	相談内容等	相談方法	電話番号等
総合相談窓口	子ども・若者に関する相談全般、相談内容に応じて他の窓口を紹介 公認心理師が心理面のケアを行うほか、アドバイザーが進路の見直し・検討や中途退学者等を支援します。(要予約)	電話・面接 メール・LINE	086-224-7110 sodan110@po1.oninet.ne.jp LineID @hfokayama
教育相談	いじめ、不登校、友人関係、学校等の相談	電話・面接	086-221-7490
進路相談	不登校生徒や高校中退者等の進路の相談	電話・面接	086-224-1121
ヤングテレホン・いじめ110番	いじめ、非行、問題行動などの少年相談	電話・面接 メール	086-231-3741 youngmail@pref.okayama.jp
24時間子供SOSダイヤル	いじめ、自分や友人の安全などの相談	電話24時間(年中無休)	0120-0-78310

OKAYAMA夢につながる学びプロジェクト

～誰一人取り残されない岡山県の教育に向けて～

保護者の皆様へ

このリーフレットは、保護者の皆様に、岡山県が進める教育をご紹介することを目的に作成しました。岡山県で学ぶすべての子どもたちが、夢につながる学びを実現し、豊かな人生を送ることを願っています。



基本的な考え方

誰一人取り残されない学びの実現

すべての子どもたちが学びにつながるができるよう、学校における指導の改善・充実や学校外での学びの場づくりを推進します。



- 学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とします。
- 子どもたち・保護者の皆様と丁寧なコミュニケーションを図ります。
- 子どもたちに、多様な学びの場を用意します。

児童生徒のみなさんへ

みなさん 学校生活はどうですか？

学校は、多くの友達やおとなと関わりながら、さまざまな学習や体験を通して、社会に出て役立つ生きる力をつけていく、みなさんにとって大事な場所です。先生やおとなたちは、地域の方々と力を合わせて、みなさんが学校で楽しく安心して学べるよう頑張っています。



例えば、タブレットも使いながら、みなさん一人ひとりのペースにあわせて勉強できるようにしていきます。授業以外にも、友達と協力しながらやりたいことを決めたり、自分たちのルールを自分たちで決めるチャンスを増やしていきます。

どうしても学校に行けないときがあっても、大丈夫です。周りのおとなに相談してみてください。みなさんの学びの場はきっと見つかります。私たちは、みなさんの素晴らしい未来を応援しています。

学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とし、子どもを真ん中にした教育活動を進めます

端末を用いた学び(笠岡小学校)

「何を使って学ぶか?」「1人で?友達と協働して?」など児童が自分で学び方を決める「自己決定」「自己調整」を行い、1人1端末を日常的に活用しながら、学習を進めています。



成長できた! 誰かの役に立てた! 意見が言えた! みんなで学んで楽しい!

子ども

やればできる! 自己決定できた!

真ん中に!

「失敗を恐れず挑戦できる」場所

ICTの活用(早島支援学校)

AIを搭載したテレプレゼンスアバターロボット※等を活用し、就労や社会参加を目指すキャリア教育を実施しています。

※テレビ会議+ロボット+遠隔操作技術を組み合わせたロボットです。自分のいる場所から遠く離れた所に存在(プレゼンス)させることができます。



校則の見直し(興陽高校)

生徒会が主体となり、全校生徒や企業に対し、身だしなみなどに関するアンケートを実施するとともに、生徒自身が校則の根拠や見直しによる影響を考え、校則の見直し内容を提案するなど、生徒の主体性を引き出しています。



PBLの実践(大原小学校)

地域の特産物をPRするため、もち麦を使用したメニューを考案して高校生にプレゼンし、大学の学生食堂での提供に至るなど、地域への還元をキーワードに、PBLに取り組んでいます。



PBLの実践(久米南中学校)

総合的な学習の時間等を活用し、地域と交流しながら、町の魅力の再発見・発信や未来に向けた提言といった探究活動を行い、主体的な学びを進めています。



子どもを真ん中にした教育活動

- 教育活動全体の中で、子どもたちが自ら考え決定できる場面を増やします。
- 学びを子どもに委ね、教師は伴走者として主体的な学びを支援します。

主体的・対話的で深い学び

- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業を進めます。
- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業を進めます。

ICTの日常的な活用

- 学校や家庭で、自分の判断で端末を使って学びます。
- 端末も活用しながら、自分の学習の方法や進度に応じて学びます。

PBL※1(課題解決型学習)の推進

- 「夢」や「なりたい自分」を見つけます。
- 自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決します。
- 地域の多様な「人・もの・こと」と関わります。
- 非認知能力※2を高めます。

※1 児童生徒が、自ら課題を見つけ、その課題を自ら解決する過程を通して、課題解決に必要な資質・能力を身に付ける学習方法のことです。
 ※2 意欲や忍耐力、コミュニケーション力等点数では表しにくい力のことです。

これからの学校

校則の在り方の見直し(荘内中学校)

校則を廃止し、「生徒会会員心得」として、生徒自身が内容を検討・見直しを行うことで、自分の行動に責任を持ち、学校を自ら創るという意識が高まっています。毎年、全校ルールメイキングサミットを開催してルールについて考えます。



PBLの実践(高梁城南高校)

「総合的な探究の時間」を中心に、多様な専門性を持つ各学科を横断し、カフェの営業やワークショップの開催といった地域に出ていく活動を行うPBLに取り組んでいます。



学校内外に多様な学びの場を用意し、どのような状態にあっても夢につながる学びを実現します

自立応援室

様々な理由で教室へ入りづらくなり、不登校またはそうした傾向となっている子どものための学校内の居場所です。社会的自立に向けた生活支援や学習支援等を個々の状況に応じて進めます。



岡山県教育支援センター「My Place」【県】

高校進学を目指しているものの、様々な理由で登校ができていない中学生のために、県立高校施設内に設置した、落ち着いて生活できる居場所です。生徒自身が決めた一日の過ごし方を、スタッフが寄り添って支援します。



県教委HPへ

オンライン応援室「まんまリンク」【県】

自分のペースで過ごせるオンライン上の居場所です。本名を明かさず、アバター(自分の分身となるキャラクター)を用いて、活動をサポートするスタッフと一緒にメタバース空間でおしゃべりしたり、興味のあるコンテンツに参加できます。



県教委HPへ

社会教育施設【県】

施設の見学や科学実験・古墳見学などのイベント等へ参加できます。一部の施設では、子ども向けに自習等を行うスペースを用意しています。



生涯学習センター

県立図書館

県立博物館

古代吉備文化財センター

洗川青年の家

青少年教育センター 開谷学校



県教委HPへ

学びの多様化学校

学校に行きづらさを感じる子どもの実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する学校です。
 ※令和7年4月に美作市が、令和8年に津山市が設置予定です。

市町村教育支援センター(旧:適応指導教室)

各学校と連携して、不登校の児童生徒が、学習や体験活動を行ったり、保護者が相談したりできる施設です。
 ※詳しくはセンターを設置する市町村教育委員会にお問い合わせください。



県教委HPへ

フリースクール

不登校の子どもに対し、個々の状況に合わせた学習や体験などの様々な教育活動を提供する民間の施設です。



県教委HPへ